

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「リソースの有効活用・効果的な人材育成に関する連携事例」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	巡回修繕 ①清掃除草剪定		②橋梁 (日常維持管理業務とは別業務)	②橋梁	②橋梁	②橋梁
河川	(※窓口業務、維持作業の内容は今後の調整による)					
公園						
下水道						
その他						

■ R9年度～ ①広島県、安芸太田町、北広島町 ②広島県、希望する市町
 ■ 将来 ②広島県、希望する市町

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化:有(3年程度)・無 ※段階的に拡大
- 性能規定の導入:有・無 ※対象範囲は検討中

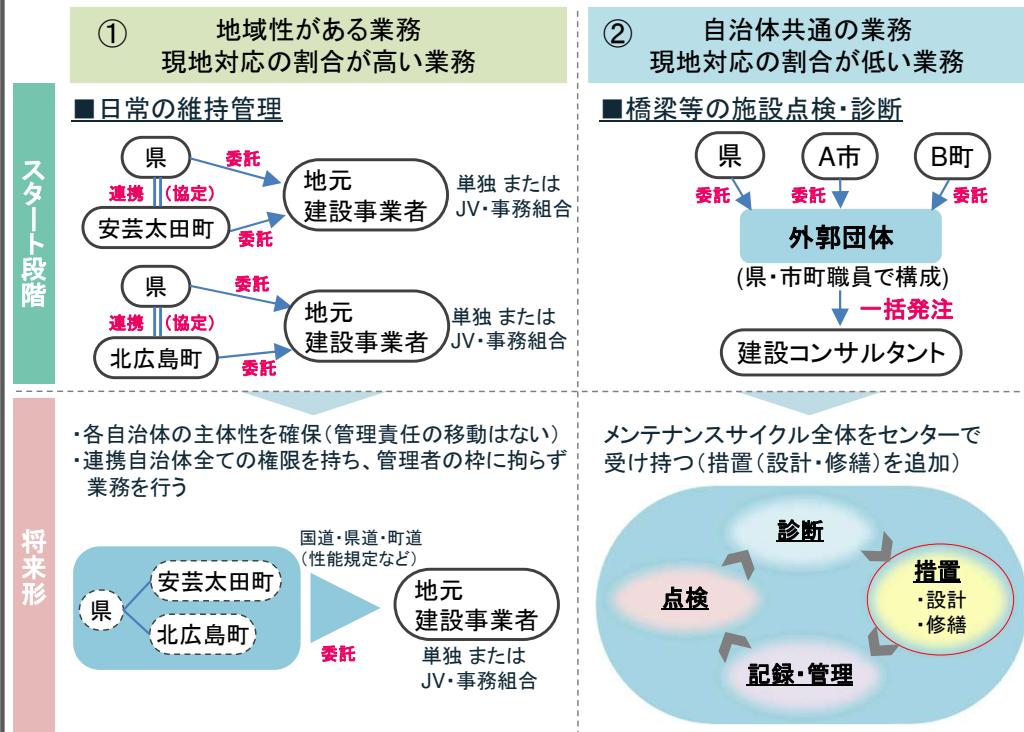
(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

→外郭団体において、自治体職員・建設事業者向けの研修の実施や技術相談、有識者との連携(高度な技術が必要な案件等に対する支援)など、産官学の連携をリードする

(2) 自治体の束

- ✓ 業務の内容や特性に応じた束ね方(連携体制)を想定
- ✓ 各自治体の技術力の維持に寄与する連携体制を想定(水平補完)



- 地方自治法上の共同処理制度の適用:有・無
- 連携協力道路制度の活用:有・無

② データ連携の具体メニュー

⇒システムの共同化、データ連携を進める

システム共同化イメージ(当面):アセットマネジメントシステムなどの既存システムの共同化や、県で新規に導入するシステムの共同利用促進など